

はいたい。ぐすーよー ちゅーうがなびら。

3月に入って寒さも緩み、暖かい日差しが感じられる日も多くなってきました。

県内の学校では卒業式が執り行われ、進学、就職等、新たな生活が始まる方も多いのではないのでしょうか。

今月は「卒業シーズン」にちなんで、沖縄県内の中学・高校生の卒業後の状況について調べてみました。(表1・表2)

表1 状況別卒業生数(中学校)

(人)

区分	卒業生総数	A 高等学校等進学者	B 専修学校高等課程進学者	C 専修学校一般課程等入学者	D 公共職業能力開発施設等入学者	E 就職者等(左記のA~Dを除く)					F 左記以外の者	G 不詳・死亡の者	(再掲)	
						常用労働者			臨時労働者	H 左記A,B,C,Dのうち就職している者(再掲)			I 左記E有期雇用労働者のうち雇用契約期間が1年以上、かつフルタイム勤務相当の者	
						無期労働者	有期労働者	臨時労働者						
平成28年3月	16,881	16,292	25	16	10	109			426	3	3	...		
29年	16,920	16,392	40	14	12	89			363	10	6	...		
30年	16,363	15,932	38	9	10	11	30	19	33	275	6	3	7	
31年	16,131	15,694	29	19	5	19	39	3	41	273	9	-	3	
令和2年3月	16,157	15,760	24	4	9	33	45	12	33	233	4	5	6	

表2 状況別卒業生数(高等学校)

(人)

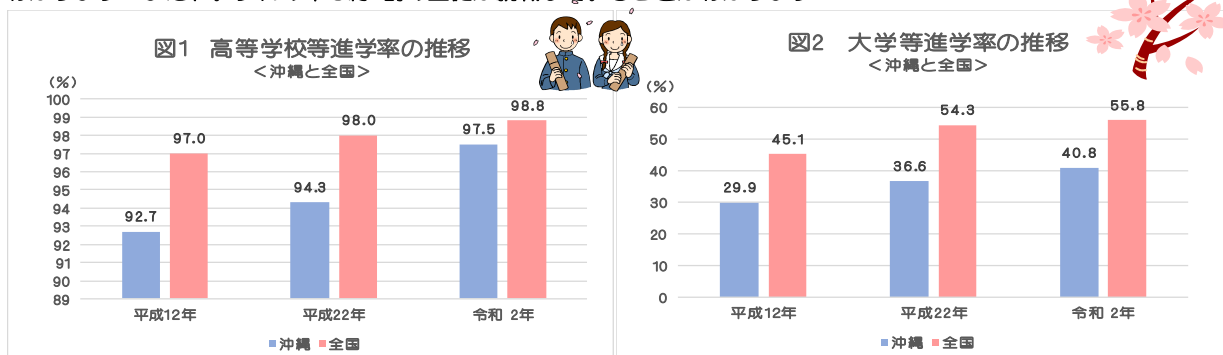
区分	卒業生総数	A 大学等進学者	B 専修学校専門課程進学者	C 専修学校一般課程等入学者	D 公共職業能力開発施設等入学者	E 就職者等(左記のA~Dを除く)				F 左記以外の者	G 不詳・死亡の者	(再掲)	
						常用労働者			臨時労働者			H 左記A,B,C,Dのうち就職している者(再掲)	I 左記E有期雇用労働者のうち雇用契約期間が1年以上、かつフルタイム勤務相当の者
						無期労働者	有期労働者	臨時労働者					
平成28年3月	14,234	5,580	3,799	328	232	2,430			1,862	3	17	...	
29年	14,607	5,774	3,658	327	232	2,565			2,046	5	18	...	
30年	14,573	5,789	3,576	328	244	2,440			2,194	2	14	...	
31年	14,508	5,752	3,498	343	243	2,654			2,017	1	10	...	
令和2年3月	14,509	5,915	3,742	344	229	282	2,040	129	31	1,797	-	8	77

まず、「表1 状況別卒業生数(中学校)」をみてみましょう。

いずれの年も卒業生総数の約97%の生徒が高等学校等に進学しています。また、就職した生徒はいずれの年も1%未満となっています。

次に、「表2 状況別卒業生数(高等学校)」をみてみましょう。

いずれの年も卒業生総数の約4割が大学等へ進学しており、専修学校等を含めると約7割の生徒が進学していることがわかります。また、いずれの年も約2割の生徒が就職していることがわかります。



資料:表1~表2、図1~図2 企画部統計課「令和2年度学校基本統計(学校基本調査報告)より

最後に、沖縄と全国の進学率(高等学校等・大学等)の推移をみてみましょう。(図1・図2)

まず、「図1 高等学校等進学率の推移」ですが、沖縄県及び全国ともに進学率は上昇しています。平成22年から令和2年にかけて、沖縄県の進学率が3.2ポイント上昇している点が特徴的となっています。

次に、「図2 大学等進学率の推移」ですが、沖縄県及び全国ともに上昇傾向にあります。平成12年、22年、令和2年と進学率の上昇は鈍化していることがわかります。

学校基本調査では、上記、調査結果について市町村別、男女別などに詳しく確認することができます。

詳細は「沖縄県統計資料WEBサイト」 (<https://www.pref.okinawa.lg.jp/toukeika/index.html>) をご覧ください。